

## 『パッと たのしく あつまろう』

### 津山市立鶴山中学校PTA

鶴山中学校PTAは昨年度より「できる人ができることを」の考えのもと組織体制や運営を見直し『パッと たのしく あつまろう』をスローガンに活動されています。今回はその取組をお伝えします。



#### 学「学校と地域をつなげたい」

「学校の敷居を低くして、地域の方に気軽に学校に来てもらいたい」と語るのは児島校長先生。PTAの活動を通して学校と地域の連携を少しずつ実現されています。



児島みどり校長先生(左)  
須一友紀PTA会長(右)

#### 「同じやるならPTA楽しんでやりたい」

「PTA役員をもととはやりたくなかった」と言われた須一会長。でも「同じやるなら楽しんでやりたい」と考え、学校の様子や子どもたちの様子を見る中で「これをしてみたい!」と思われたことを実際の活動につなげられています。

#### 地域「子どもを見られることが幸せ」

家族のあり方も様々な今、忙しくしている家庭も多い。そんな中でも地域の方々は「おうちの方はそのままがいいよ」「私たちも今までやってきてもらったから」と子どもたちの登下校の見守りや学校活動に参加されています。

### ♪♪ 楽しく活動するための鶴山中学校PTAの工夫 ♪♪

☆負担にならないように会議の回数を減らす…統合できる部会は統合

☆会議で話しやすくする工夫としてコーヒーなどを提供  
…会議に来てもらってよかったと思ってもらえるように

役員会の出席率

☆やってみたい活動の運営は部会中心ではなく『呼びかけ挙手制』  
…「楽しそう」「やってみたい」の輪が広がっている

立候補者の

部会を超えて子どもたちについて考える中から生まれた活動

#### ① 「つるやまかふえ」

「保護者や地域の方々が気軽に学校に来て交流を深める機会を作りたい」との思いから始まったカフェの開催。中学校の図書室で、訪れた方々にコーヒーや紅茶を提供し、憩いのひと時を与えています。



地元のコーヒー店と連携しており、カフェ開催の協力だけでなく、職場体験の受け入れや美術や数学の授業とのコラボ商品を販売しています。カフェ等の収益はPTAや生徒たちの活動費になっています。また、災害地域への寄付も予定しています。



この取組を通して参加者からは「学校の様子が見られてよかった」「地域の方と話が盛り上がり楽しかった」といった感想が。

生徒たちも休み時間に立ち寄り地域の方々と話をしています。日常会話を楽しんだり、将来の夢を話してみたり…「見守ってもらえている」という安心感が垣間見えるようになっていきます。



#### ② 「フードドライブ\*」

\*家庭で余っている食品を集めて、福祉施設や子ども食堂、生活困窮者支援団体などに寄付する活動です。

給食幹事会で話題になった「給食の残食量」。そこから食について考えてもらいたいと始まった「フードドライブの取組」は3年目に突入。参観日にあわせて家庭内で余っている食品・生活用品を持ってきていただき、NPO法人オレンジハートを通して必要としている世帯へ届けてもらっています。また、昨年度は美作大学の食品ロスサークルによる講演会の実施や生徒会と共に「もったいないマルシェ」にも参加し、子どもたちの中でもジワジワ活動が浸透しています。

「PTAの活動は必要ですか?」の問いに「必要です!」と笑顔で答えてくださった須一会長。PTA活動の目的は、「子どもの健全な育成を図ること」です。鶴山中学校のPTAは「子どもたちの幸せ」を願う多くの方々の思いがマッチして充実した活動につながっていました。